

様式 4

令和 7 年度第 3 回 富士見市健康づくり審議会 議事録						
日 時	令和 7 年 1 0 月 3 0 日（木）		開会 午後 1 時 3 0 分 閉会 午後 3 時 0 0 分			
場 所	富士見市中央図書館 視聴覚室					
出席者	委 員	日 鼻 会長	衛 藤 副会長	秋元委員	阿由葉委員	岩崎委員
		○	○	○	○	○
		海老原委員	大堀委員	小澤委員	神崎委員	菊地委員
		欠	○	○	○	○
		北田委員	小池委員	齊田委員	田中委員	戸塚委員
		○	○	○	欠	○
		深山委員	富士原委員	本間委員	丸山委員	村上委員
		○	○	○	○	○
	事 務 局	健康福祉部：鈴木部長 健康増進センター：山崎所長、齊藤副所長、奥田主査、後藤主任、神庭主事、桑名主事 委託業者：株式会社名豊 糸魚川氏				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者なし）					
議 題	別紙「令和 7 年度 第 3 回富士見市健康づくり審議会次第」					
議 事 内 容						
1 開会						
2 会長挨拶						
3 報告事項 前回の審議会での質疑について回答						

① 資料 1 について説明

② アンケートを実施した際の質問表において、『運動』がどのようなものを指すのかについて。小学生を対象としたアンケートでは「運動の様子について伺います。あなたは、体育の授業以外に 30 分以上の運動をする日が週に何日ありますか。(○は 1 つだけ)」注意書きでクラブ活動や習い事などでの運動時間はこれに含みます。という設問とした。回答の選択肢は「1. 週 4 日以上している 2. 週 3 日程度している 3. 週 2 日程度している 4. 週 1 日程度している 5. ほとんどしていない」という選択肢としてアンケートを実施した。

4 議題

(1) (仮称) 第 2 期富士見市健康増進計画素案について
事務局と委託業者により資料に基づき修正点について説明

<質疑・応答>

委員：「果物摂取量の改善」の指標でバナナが選ばれているのはなぜか。また摂取量の目安が 200 グラムとあるが妥当性はあるのか。

委託業者：200 グラムは国の指標でもある。

副会長：食事バランスガイドや国の指針でも 200 グラムを示されていることが多い。

委員：「いのちを守る包括的支援」の市民の取組の部分には、うつ病などの症状を感じた場合には医療機関を受診しましょうなどの項目があった方が良いのではないか。

事務局：前向きに検討したい。

委員：「生活習慣病発症予防と重症化予防」の目標指標、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少」は人数ではなくパーセントの方が良いのではないか。

事務局：協会けんぽと市町村国保の統計をもとにしているので人数で算出している。パーセントでの表記について前向きに検討していきたい。

会長：各健診の受診率向上のために、どのくらいの人が受診しているのか表記すると良いのではないか。

委員：特定健診は人間ドックも含まれるのか。

会長：含まれない。

委員：人間ドックも含まれると変わってくるのではないか。

会長：人間ドックでがん検診を受ける方もいる為、その人数も入ると変わってくるかもしれない。

委員：「歯と口腔の健康」の「課題を踏まえた方向性」の部分について、子どもの虫歯というのは歯磨き以上に、食生活・食習慣がとても大事なので、それについての一文を入れていただきたい。また歯科では子どもの時点からの口腔機能の低下というのが取り組みとして行われていて、オーラルフレイルは高齢者のことだけではなく生涯にわたってという文言にしていきたい。

事務局：上記２点に関して前向きに検討していきたい。また、がん検診については職域や人間ドックで受けた数についても把握できる取り組みが国主導で進んでいるようなので注視していきたい。

委員：「飲酒、喫煙」について、アンケートでは「他の人が吸っているたばこの煙を吸ってしまうことがある」について調査しているが、場所については聞いていないのか。

事務局：場所については調査していない。

委員：「歯と口腔の健康」について、こどもを虫歯にさせないようにするには口移しで食べ物を与えるとか同じ箸を使う、スプーンとかを使うことは避けましょうと記載した方がいいのではないかな。

委員：既に１２か月健診や１歳半健診で保健指導を行っている。

委員：生まれる前から知っておいた方が良いということなのでは。

会長：妊娠中に行われる母親学級などでも指導を受けているのではないかな。常識となってきたことなのであえて記載をしなくても良いのでは。

委員：子育てから離れていると知らない年齢層もいるのではないかな。

事務局：幼少期の虫歯の罹患率や健康教育などの普及が進んできており検討をした結果、あえて記載をしていない。

委員：人間ドックで受けた件数が入っていないのはなぜか。

事務局：人間ドックでの検査の方法や何人の医師で結果を確認するかなど違いがある。検診の方法が違うため、受診率に含めることができない。市で実施している検診の受診率をまずは上げていきたい。先ほどもお答えした通り、職域や人間ドックで受けた数についても把握できる取り組みが進んでいるようなので注視していきたい。

（２）第２期富士見市健康増進計画総称名について

委員より「カラフルハピネス★ヘルシーふじみ」、「いきいき健康&歯っぴーライフ★ふじみ」、「こころも体もいきいき健康ライフ★富士見」、「ハピネス健康ふじみ」、「ハピネス健康富士見」、「みがく健康、つなぐ幸せ」、「ハピネス健口ふじみ」が提案された。事務局より「健康ふじみ計画」、「健康づくり計画」、「第２期富士見市健康づくり推進計画」が提案された。

審議により「ハピネス健康ふじみ」、「ハピネス健口ふじみ」が候補として挙げられた。最終決定は事務局一任となった。

(3) 「その他」

事務局：今後のスケジュールについて説明。

審議の内容を踏まえ、加筆修正後12月4日に政策会議を行う予定。政策会議を経て来年の1月5日から2月4日まで1か月間パブリックコメントを実施する予定。パブリックコメント後は、回答の案の検討や計画の修正について検討する事項がある場合、審議会を開催する。計画の策定については、3月上旬頃に市長へ答申後、今年度末には策定の予定である。

＜質疑・応答＞ なし

4 閉会